

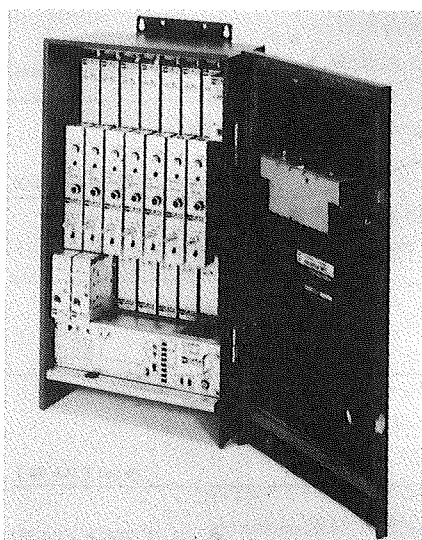
取扱説明書

DXアンテナの製品を正しくご使用いただくために
取扱説明書をよくお読みください。



このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

チャンネル専用増幅器 HA-6Y (NHK形名NH-HA-2)

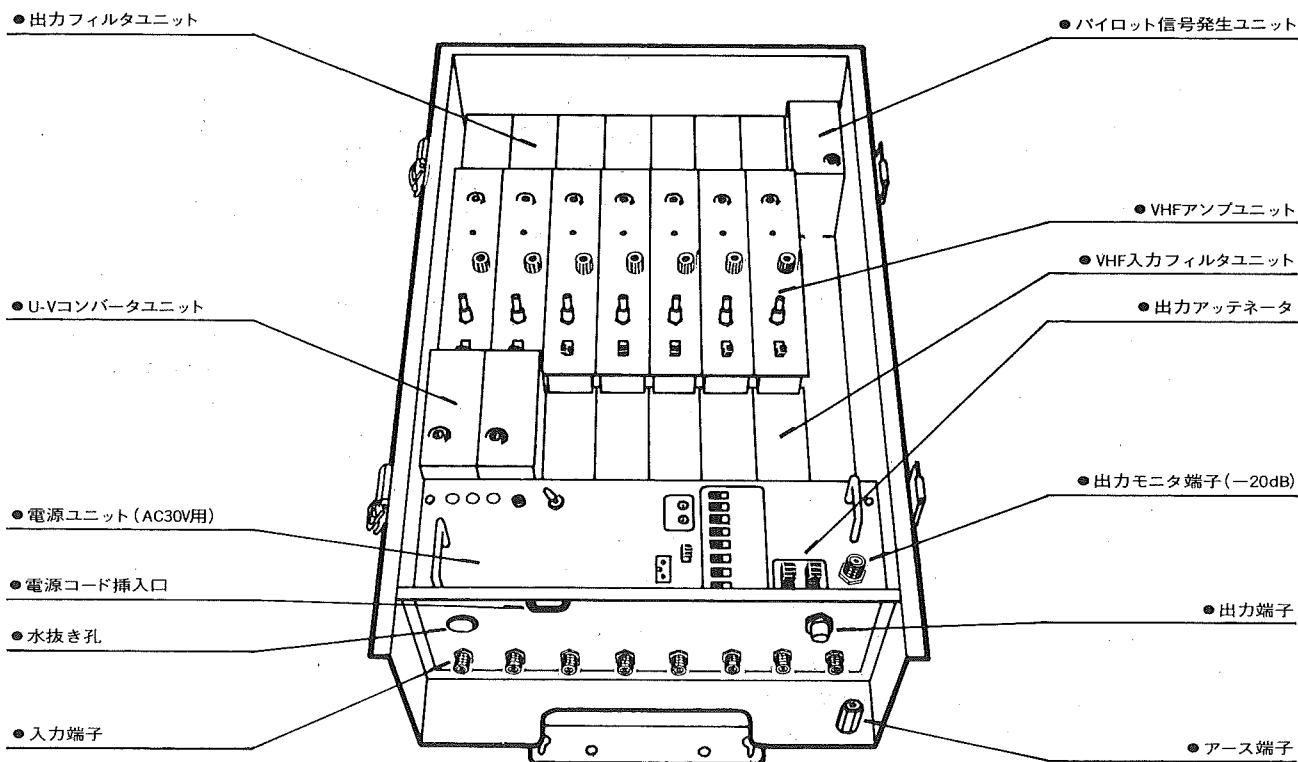


●特長

- U-Vコンバータ入力部に独自のフィルタを、またVHF入力・出力フィルタ部にヘリカル形を採用し、混信や飛込みに強い。
- フラットな周波数特性をもつアンプユニットや、コンバータユニット、電源ユニットがカセット式で、万一の場合でも交換・修理が簡単。
- 各入力端子は、それぞれAC30V重畳電源を取り出せる給電スイッチ付で、外付コンバータやプリアンプを使用する際に便利。(AC30V動作時のみ)
- 入力・出力端子及び電源ユニットには避雷器を内蔵しており、雷害にも強い。
- 入力・出力端子接栓はゆとりあるテープ巻き部分をもうけ、防水処理が容易。

●各部の名称

●この項の説明はHA-6Y25P(AC30V用)で代表しています。また入力端子及び各ユニットの配置は仕様により異なる場合があります。

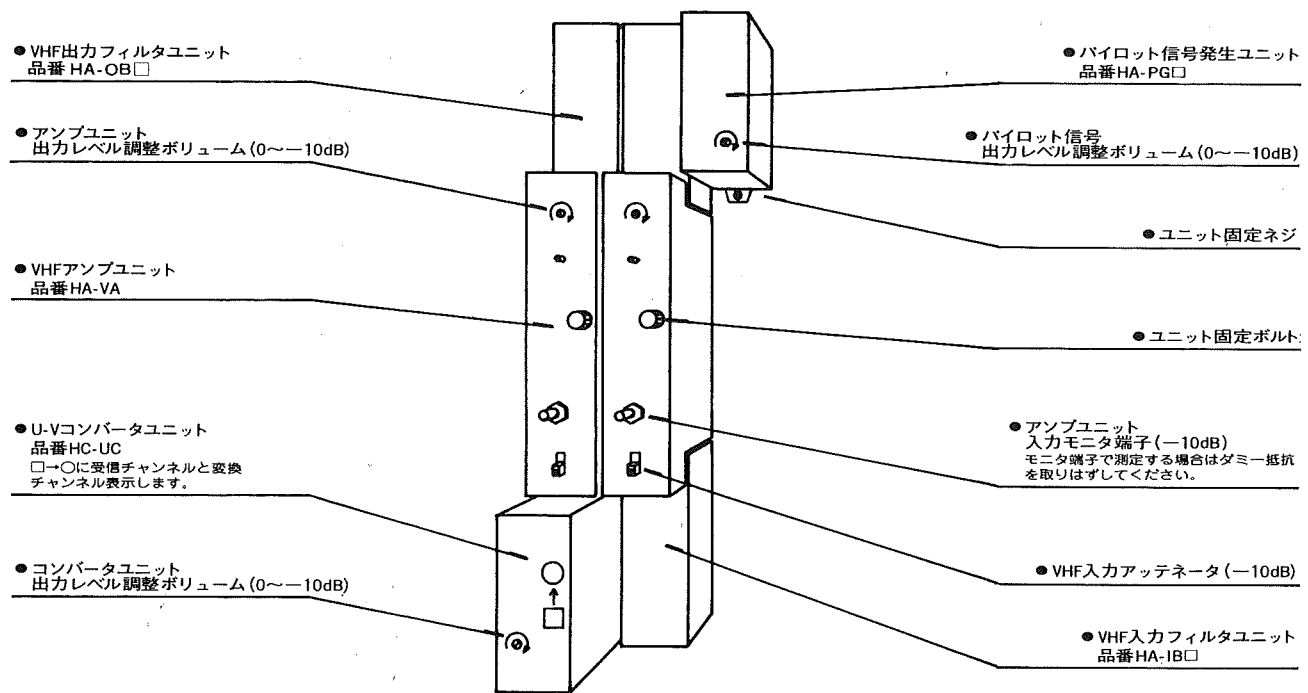


●アンプのスペアユニットは蓋のうらに固定してあります。

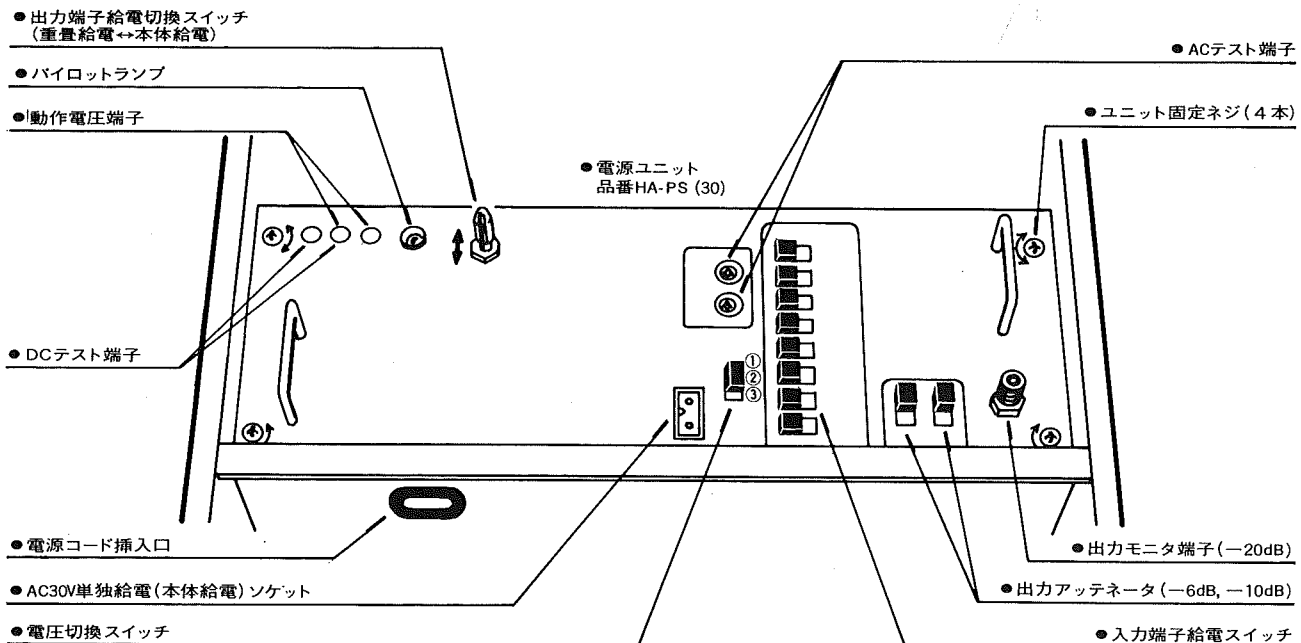
●付属品

- 増幅ユニット(スペア)..... 1台
- マスト取付金具(本体取付用ボルト付)..... 2個
- 木ネジ..... 4本
- 調整用ドライバー..... 1本

● 各ユニットの説明



● 電源の供給および操作方法

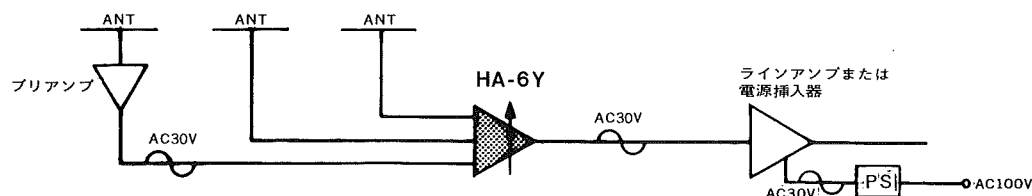


※本器は出力端子からの重量給電 (AC30V) と外部電源装置からの本体給電 (AC30V) で動作させることができます。

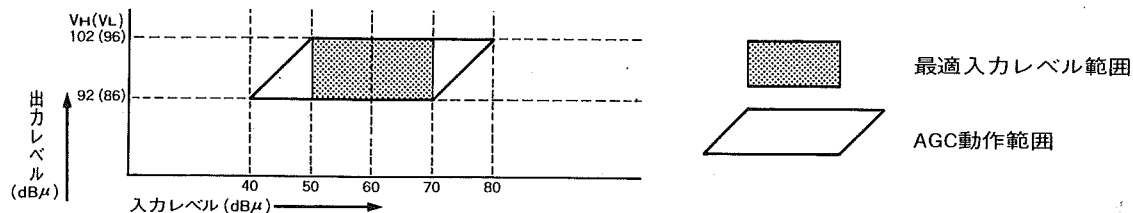
※電源ユニットを取りはずす場合は、ユニット固定ネジ (4本) をはずし、取手を少し手前に引いてユニット裏面のコネクタを抜いてください。

- (1) 電圧切換スイッチが上側①の位置にあることを確認してください。
- (2) 電源を入ると同時にパイロットランプの点灯を必ず確認してください。
- (3) DCテスト端子でDC電圧を測定し電圧が23Vをこえていなければ、電圧切換スイッチを上側①から下側②③に順次切り換えて行き、23Vをこえた位置でセットしてください。
- (4) 動作電圧端子でDC電圧を測定し、DC18V±0.5Vを確認してください。
- (5) コンバータやプリアンプを使用する場合は(1)〜(2)の操作を行なった後、AC30Vを供給する入力端子の給電スイッチをON側に切り換えてください。

電流容量は、1端子あたり最大300mAで、給電可能な端子数は、外部の電源装置の電源容量に左右されますので、電流容量を計算のうえ使用する電源装置を選定してください。



● 入力レベルおよび調整方法



I 入力レベルの調整

● VHF信号受信の場合

＜入力レベルはVHFアンプユニットのモニタ端子(−10dB)で測定できます。＞

- (1) VHFチャンネルのアンプユニット入力レベルは、上図の最適入力レベル(60dBμ)になるように調整してください。(適正入力レベル±10dBの変動に対して、AGCが規定通り動作します。)
- (2) 入力レベルの高い場合(70dBμ以上)はアンプユニットの入力アッテネータ(−10dB)を入れて(1)で示した最適入力レベルになるようにしてください。それぞれ最適入力レベルにならない場合は、外付のアッテネータやレベルコントローラを使用して調整してください。
- (3) 入力レベルが低い場合(60dBμ以下)はプリアンプを使用して最適入力レベルになるように調整してください。

● UHF信号受信の場合

＜コンバータユニット出力(VHFアンプユニット入力)はVHFアンプユニット入力モニタ端子で測定できます。＞

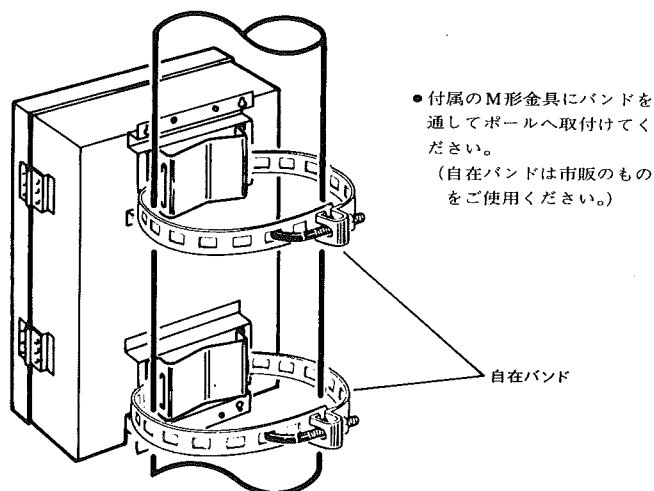
- (1) コンバータユニットの最低入力レベルは54dBμとなっています。これより低い場合はプリアンプを使用して、54dBμ以上になるように調整してください。この場合フィルタのロス、分波ロスも考慮してHA-6Yの入力レベルは60〜70dBμに設定してください。
- (2) (1)の操作により次段のアンプユニットへの入力レベルは適正入力レベル範囲を越える場合がありますのでVHFの場合(1)・(2)項の調整を行います。
- (3) 入力レベルが高い場合(70〜80dBμ)(2)の操作を行い、さらにUHFコンバータ部の出力レベル調整ボリュームで調整してください。また入力レベルが80dBμをこえる場合は外付のアッテネータを使用してください。

II 出力レベルの調整

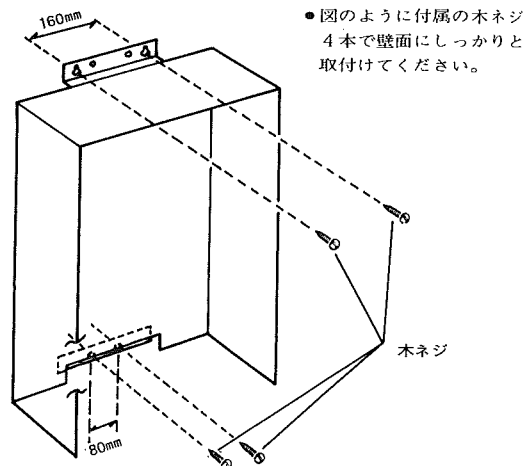
VHF・UHFそれぞれの入力レベルの調整が終わったら出力モニタ端子(−20dB)に電測計を接続して次段の増幅器が最適入力レベルとなるよう各チャンネルのアンプユニット出力レベル調整ボリューム、および出力アッテネータにより出力レベルを調整してください。

● 取付方法

＜柱・マストへの取付方法＞

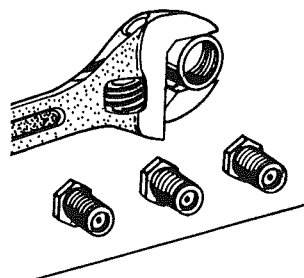


＜壁面への取付方法＞



● 使用上の注意

- 出力端子に同軸ケーブルを接続する場合は右図のように本器のフィッティング座にスパナかレンチを掛けて回らないように固定し、フィッティング接栓をしっかり接続してください。
- 電源が重畳されているケーブルの途中で使用されるユニットは必ず電流通過形をご使用ください。
- 屋外に設置される場合はなるべく汚水・海水などが直接かからないように放熱を施した収容箱などに収容してください。
- 振動の多い場所で使用される場合は、クッション等を施し、振動が直接伝わらないようにしてください。
- 本体を1.6φmm以上の銅線でアースしてください。



● 規格特性

＜総合規格＞

項目	性能
利得	52dB
標準出力レベル	V _L 96dBμ V _H 102dBμ
利得調整範囲	入力側 固定 -10dB (各チャンネル別) 出力側 固定 -6dBおよび-10dB (全チャンネル) 加算式 可変 0~-10dB以上
AGC特性	入力レベル60dBμ±10dBに対して出力レベル±1.5dB以内
雑音指数	8dB以下 (単チャンネル入力)
利得変動	±2dB以内
帯域内周波数特性	中心周波数±3MHzで±1dB以内
帯域外減衰量	中心周波数±9MHzで-15dB以下
カラー混変調	-30dB以下 (3信号法による)
ハム変調	-66dB以下
入出力インピーダンス	75Ω (入力F形, 出力F形)
不要放射	34dBμ/m以下 (IEC法による)
V S W R	入力 1.5以下 出力 1.7以下
衝撃波試験	入出力±24kV (1.2×50μs)
使用温度範囲	-20℃~+40℃
外観寸法	609.5 (H) × 364 (W) × 205.5mm
重量	約25kg (HA-6Y25Pの場合)
消費電力	重畳方式 AC20~30V 720mA (V7波のとき) AC20~30V (1ユニットあたり) 90mA

＜UHF-VHFコンバータユニット＞

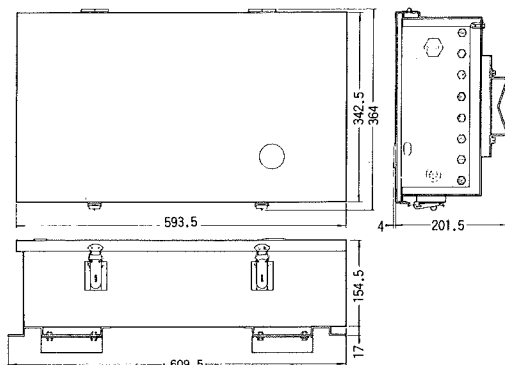
項目	UHF・VHFの各指定の1チャンネル
利得	10dB±3dB
入力レベル範囲	54dBμ以上
標準出力レベル	80dBμ以上
利得変動	±1.5dB以内
帯域内周波数特性	中心周波数±3MHzで±1dB以内
帯域外減衰量	中心周波数±9MHzで30dB以上 (隣接のチャンネルに妨害を与えないこと)
雑音指数	8dB以下
V S W R	入力 1.5以下 出力 2以下
映像妨害比	-35dB以下
局発漏洩	40dBμ以下
不要放射	34dBμ/m以下 (IEC法による)
周波数偏差	±20kHz以内
カラー混変調	標準出力レベルで-30dB以下 (3信号法による)
ハム変調	-60dB以下
消費電流	DC50mA
使用温度範囲	-20℃~+40℃

＜パイロット信号発生ユニット＞

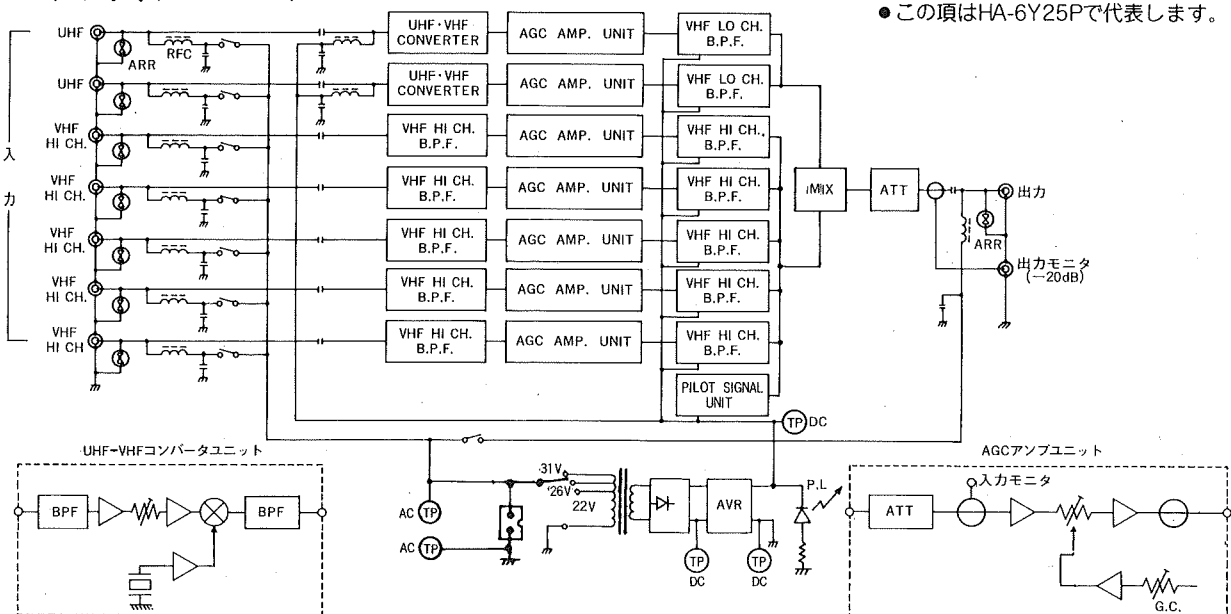
周波数	148MHz又は246MHz
標準出力レベル	105dBμ以上 (75Ω終端値)
出力レベル調整範囲	0~-10dB連続可変
出力レベル安定度	±1.0dB以内
周波数偏差	±20kHz以内
スプリアス	70~250MHzで-60dB以下 その他の帯域で-30dB以下
ハム変調	-60dB以下
消費電流	DC45mA

※) 上記規格は単体(ユニット)規格です。運用場面では前ページの
“入力レベルおよび出力レベル調整方法”にもとづいて行なっ
てください。

● 外形寸法



● ブロック図 (AC30V用)



詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店又は下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

- | | | | |
|--------------------------------|---------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| ・衛星システム推進部 TEL.(03)3341-0444代 | ・千葉営業所 TEL.(043)253-1121代 | ・名古屋西営業所 TEL.(052)411-7555代 | ・松山営業所 TEL.(0899)25-3826代 |
| ・通信機器部 TEL.(03)3341-4412代 | ・茨城営業所 TEL.(0298)28-5341代 | ・金沢支店 TEL.(0762)61-9988代 | ・広島支店 TEL.(082)237-5331代 |
| ・東京ケーブルテレビ部 TEL.(03)3341-5281代 | ・新潟営業所 TEL.(025)276-2166代 | ・富山営業所 TEL.(076)22-7878代 | ・防府営業所 TEL.(0835)38-0809代 |
| ・旭川営業所 TEL.(0166)34-7447代 | ・横浜支店 TEL.(045)651-2557代 | ・大阪支店 TEL.(06)334-6381代 | ・九州支店 TEL.(092)541-0188代 |
| ・札幌営業所 TEL.(011)822-1251代 | ・多摩営業所 TEL.(0426)35-1341代 | ・堺営業所 TEL.(0722)78-6311代 | ・北九州営業所 TEL.(093)822-6556代 |
| ・東京支店 TEL.(03)3862-9170代 | ・中部支店 TEL.(052)771-5108代 | ・京都営業所 TEL.(075)321-4155代 | ・大分営業所 TEL.(0975)58-7235代 |
| ・仙台営業所 TEL.(022)243-2141代 | ・静岡営業所 TEL.(054)281-0141代 | ・神戸支店 TEL.(078)360-4810代 | ・熊本営業所 TEL.(096)325-0711代 |
| ・東京中央営業所 TEL.(03)3862-9171代 | ・浜松営業所 TEL.(053)481-6985代 | ・神戸西営業所 TEL.(078)974-7100代 | ・鹿児島営業所 TEL.(0992)67-8211代 |
| ・東京西営業所 TEL.(03)3382-1711代 | ・豊橋営業所 TEL.(0532)32-8188代 | ・姫路営業所 TEL.(0792)81-1600代 | ・沖縄営業所 TEL.(0988)68-3070代 |
| ・東京北営業所 TEL.(03)5380-3531代 | ・三重営業所 TEL.(0592)26-1643代 | ・岡山営業所 TEL.(086)245-2948代 | |
| ・埼玉営業所 TEL.(048)652-3311代 | ・岐阜営業所 TEL.(0582)73-9710代 | ・高松営業所 TEL.(0878)68-1222代 | |

(1993年5月現在)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001代 東京支社/〒100 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル TEL.(03)3341-0441代